

報 道 資 料

平成23年 3月30日
奈良県防災統括室
担当：川田
直通：27-8448
内線：4508

3月11日の東北地方太平洋沖地震に関する 奈良県の対応等について（第30報）

（3月30日17：30発表）

1. 地震情報

3月11日（金）14：46頃 本震発生

2. 県の体制

3月14日（月） 奈良県東北地方太平洋沖地震支援連絡会議を設置

3. 救援物資等について

○毛布

3月14日（月） 3,500枚、宮城県気仙沼市役所へ搬送

3月15日（火） 7,000枚、宮城県気仙沼市役所へ搬送

○県及び市町村備蓄物資

3月17日（木） 被災地へ向けトラック7台で出発

福島県向け 毛布 13,000枚

岩手県向け おむつ（大人用）16,000枚

おむつ（小児用）30,000枚

宮城県向け トイレ（屋外用） 80機

トイレ（簡易式） 7,000個

○民間物資の受入状況（3月30日16時現在）★報道発表済み

物資提供の申し出件数 18件（累計 775件）

受入件数 10件（累計 160件）

○民間物資の自衛隊による搬出

3月19日（土） 宮城県へ自衛隊による輸送

品目 食料品（飲料水、即席めん、保存食ほか）

衣料品（下着、靴下ほか）

生活用品（生理用品、おむつ、カイロほか）

○民間物資の（社）奈良県トラック協会による搬出

3月20日（日） 福島県へ（社）奈良県トラック協会による輸送

品目 衣料品（下着、靴下、Tシャツほか）

生活用品（歯ブラシ、マスク、タオル、石けんほか）

3月23日（水） 宮城県へ（社）奈良県トラック協会による輸送

品目 衣料品（靴下、防寒ジャンパー、作業服、Tシャツほか）

生活用品（マスク、おむつ、タオルほか）

食料用（レトルト食品、ラーメン、醤油ほか）

3月25日(金) 茨城県庁(茨城県水戸市)、茨城県日立市ほか5ヶ所へ(社)奈良県トラック協会による輸送

品目 食料品(水)
衣料品(下着、Tシャツほか)
生活用品(ブルーシート、紙おむつ、タオルほか)

3月30日(水) 宮城県石巻市へ(社)奈良県トラック協会による輸送

品目 食料品(水、缶詰、菓子など) ★報道発表済み
衣料品(靴下、下着、衣類など)
生活用品(オムツ、生理用品、石けんなど)

○支援物品(葬祭資材)について(担当:消費・生活安全課)

3月20日(日)9:00頃 福島県へ棺102個等の葬祭資材を発送
奈良県葬祭業協同組合等を通じ、15社(事業者)より提供
今後、上記組合から納棺師等を延べ27人派遣予定

○支援物資(一般用医薬品セット等)について(担当:薬務課)

3月25日(金)17:00頃 福島県と宮城県気仙沼市に向け、一般用医薬品セット(「奈良のくすり」セット)300セット、栄養ドリンク55,000本を発送

※奈良県製薬協同組合(製薬企業57社で構成)より提供

4. 被災地への人員派遣

①-1 防災統括室職員(先遣隊)の派遣

3月14日(月)~18日(金) 宮城県庁において情報収集

①-2 県職員(3名)の第二次派遣

3月27日(日)~31日(木) 宮城県内において情報収集

②DMAT関係 (担当:奈良県医療政策部地域医療連携課)

3月11日(金) 奈良県DMAT(奈良県立医科大学チーム第1隊 5名)
陸路により仙台医療センターへ出発。

3月12日(土) 奈良県DMAT(奈良県立医科大学チーム第2隊・県立奈良病院チーム・市立奈良病院チーム 合計13名)
伊丹空港から、自衛隊機により花巻空港へ出発。

各隊活動開始

3月13日(日) 奈良県DMAT1隊(奈良県立医科大学チーム第1隊)
仙台医療センターで現地本部と協議し活動終了。
奈良県へ向け出発。

3月14日(月) 奈良県DMAT1隊(県立奈良病院チーム)、バスで奈良県へ出発。
奈良県DMAT1隊(市立奈良病院チーム)、奈良県へ帰着
奈良県DMAT1隊(奈良県立医科大学チーム第2隊)、奈良県へ帰着

③医療従事者等の派遣

○保健師の派遣(担当:医療政策部保健予防課)

県の保健師等が3月16日(水)奈良県庁から宮城県へ向け出発
活動期間 4月30日(土)まで4泊5日で交替で支援を行う予定。

- 3月17日(水) 宮城県気仙沼市(面瀬中学校)において、健康相談、健康管理、
～3月22日(火) 感染症予防等の保健活動実施。
- 3月23日(水)～ 保健師2チーム体制に拡充し、面瀬中学校及び市立総合体育館に
において、引き続き保健活動実施。

○医療救護班の派遣

奈良県医療救護班を宮城県気仙沼市に派遣(医師2名、看護師2名、事務2名、薬剤師1名)現地にて医療活動を行う。
活動期間 3月19日(土)～4月末日まで(予定)

④消防防災ヘリコプター

- 3月11日(金) 消防庁から奈良県消防防災ヘリコプター出動依頼
搭乗員は9名(隊員5名、機長1名、副機長1名、整備士2名)
- 3月12日(土) 奈良県ヘリポート出発、福島空港到着
宮城県亘理郡～福島県相馬市において、捜索・救助活動実施。
(～3月14日(月))
- 3月15日(火) ヘリの25時間点検のため活動休止
- 3月16日(水) 福島原発爆発事故のため、群馬ヘリポートにて待機
- 3月17日(木) 奈良県ヘリポートに帰投

⑤緊急消防援助隊の出動

- 3月11日(金) 消防庁から奈良県緊急消防援助隊に出動要請
- 3月12日(土) 針インターに集結、25隊91名が東京方面に向けて出発。
途中、消防庁の指示により、目的地を長野県庁に変更。
(長野県で震度6強の地震を観測したため)
長野市消防局と調整の結果、福島県郡山カルチャーパークに
向け出発、到着。
(内訳)
- | | | |
|-------|-----|-----|
| 県指揮隊 | 2隊 | 6名 |
| 消火部隊 | 7隊 | 34名 |
| 救助部隊 | 3隊 | 15名 |
| 救急部隊 | 10隊 | 30名 |
| 後方支援隊 | 3隊 | 6名 |
- 3月13日(日) 福島県郡山カルチャーパークから宮城県山元町に向け出発。
岩沼市へ緊急出動要請。岩沼市消防本部に向け出発、到着。
山元町立山下中学校へ到着。
- 後方支援隊1隊(4名)を、緊急消防援助隊にかかる物資搬送のため
追加派遣。宮城県へ向けて出発。
- 3月14日(月) JR常磐線坂元駅北側一帯で救助活動
- 交替要員(第2隊)出発(26隊93名)
- 3月15日(火) 交替要員到着、引継、引き続きJR常磐線坂元駅北側一帯で救助
活動

先発隊、現地引き揚げ

- 3月16日(水) 先発隊、奈良市消防局帰着後解散
第2隊、JR常磐線山下駅周辺で救助活動
- 3月17日(木) 第2隊、宮城県山元町で捜索活動
第3隊(2回目の交代要員)出発
- 3月18日(金) 第3隊交代要員到着、引継、第2隊引きあげ
- 3月19日(土) 第2隊、奈良市消防局帰着後解散
第3隊、宮城県山元町で捜索活動
- 3月20日(日) 第3隊、宮城県山元町で捜索活動
- 3月21日(月) 第3隊 現地引き上げ
- 3月22日(火) 奈良市消防局帰着、解隊式を実施

⑥奈良県警察広域緊急援助隊 (担当:奈良県警察本部警備第二課)

- 3月11日(金) 広域緊急援助隊 救出救助業務のため東北地方へ向け出発
- 3月12日(土) 広域緊急援助隊(刑事部隊)宮城県へ向け出発。
- 3月13日(日) 広域緊急援助隊 各部隊 活動開始
- 3月15日(火) 広域緊急援助隊(刑事部隊)帰県
- 3月17日(木) 広域緊急援助隊(警備部隊)帰県
- 3月19日(土) 広域緊急援助隊(交通部隊)帰県

⑦奈良県警察警備部隊の派遣(広域緊急援助隊とは別部隊)

- 3月19日(土) 奈良県警察警備部隊、宮城県へ向け出発
29名(機動隊6名、管区機動隊23名)
派遣期間 3月21日(月)~3月25日(金)
- 3月20日(日) 奈良県警察警備部隊、宮城県入り
- 3月25日(金) 奈良県警察警備部隊、任務を終了し宮城県を出発
- 3月26日(土) 奈良県警察警備部隊、帰県

⑧奈良県警察交通部隊の派遣(広域緊急援助隊とは別部隊)

- 3月22日(火) 奈良県警察交通部隊6名、福島県内に向け出発
派遣期間 3月23日(水)~3月29日(火)
- 3月23日(日) 奈良県警察交通部隊、福島県入り
- 3月28日(月) 奈良県警察交通部隊(交代要員)5名、福島県内に向け出発
派遣期間 3月29日(火)~4月4日(月)
- 3月29日(火) 奈良県警察交通部隊(交代要員)、福島県入り

3月30日(水) 奈良県警察交通部隊(3月23日(水)～3月29日(火)派遣)、帰県

⑨ 応急給水支援隊の出動

- 3月15日(火) 給水車1台、指令車1台、職員5名、
応急給水支援活動のため、県水道局から岩手県盛岡市上下水道局
に向けて出発。(1班あたり8日間出張、4班体制で対応)
(担当: 奈良県水道局総務課)
- 3月16日(水) 給水車10台9事業体(※)22人、奈良市水道局から岩手県盛
岡市上下水道局へ向けて出発。
※奈良市2台、生駒市、橿原市、香芝市、桜井市、天理市、
大和郡山市、大和高田市、広陵町各1台 計10台
(担当: 奈良市水道局業務部総務課)
- 3月17日(木) 陸前高田市 希望ヶ丘病院で給水活動
- 3月18日(金) 県は陸前高田市で、市町村は陸前高田市と大船渡市で給水活動
- 3月19日(土) ~ 県と市町村は陸前高田市で給水活動
- 3月23日(水) 第2班(交替要員)として5事業体14人が陸前高田市へ向けて出発
(県水道局、奈良市、大和郡山市、天理市、生駒市)
- 3月26日(土) 第3班として7事業体14人が陸前高田市へ向けて出発
(県水道局、奈良市、橿原市、香芝市、桜井市、大和高田市、広陵町)
- 3月29日(火) 第4班として5事業体14人が陸前高田市へ向けて出発
(県水道局、奈良市、大和郡山市、天理市、生駒市)

⑩ 下水道関連

管路施設の一次調査(管路及び人孔の損傷や緊急対応の必要の有無を調査)のため、奈良県2名、奈良市2名の職員が3月27日(日)に出発(宮城県松島町内において3月28日(月)～4月2日(土)に活動を予定)

3月28日(月)～ 奈良県と京都府(2班体制)で宮城県松島町内の管路調査実施

5. 市町村の対応

3月11日(金) 17:00 奈良市救援対策本部設置

(担当: 奈良市市民安全課)

6. 防災関係機関の対応

○日本赤十字社奈良県支部

医療救護班1班(7名)、県立三室病院で準備完了。

3月12日(土) 岩手県盛岡赤十字病院に向け出発。救援物資として毛布
1,000枚を提供。

3月13日(日) 盛岡赤十字病院に到着。

日赤岩手県支部の指示により久慈市大川目中学校(避難所)へ移動。大川目中学校で青森県支部の先遣隊と合流。合流後、岩手県九戸郡野田村の国民宿舎「えぼし荘」(避難所)へ移動し、医療救護活動を開始。

3月14日(月) 野田村役場職員と保健師の案内で、順次巡回診療後、避難所(久慈工業高校)へ移動。

避難所（久慈工業高校・岩手県野田村）到着、巡回診療を実施。
毛布500枚 追加提供。

- 3月15日（火） ライジングサンスタジアム運動公園野球場及び野田小学校（岩手県野田村）に救護所を設営し、医療救護活動を実施。
- 3月16日（水） 救護所で診療活動を実施。
- 3月17日（木） 救護班第1班と第2班（県立奈良病院6名・支部職員1名）、日本赤十字社青森県支部にて引継後、第1班帰県。第2班は野田村へ移動
- 3月18日（金） 野田村内避難所（10カ所）、巡回診療開始
- 3月19日（土） 野田村内避難所等を巡回診療
- 3月20日（日） 野田村内避難所等を巡回診療後、青森県に移動
- 3月21日（月） 第3班（県立五條病院5名、支部職員1名）日本赤十字社青森県支部で引継後、野田村へ移動。第2班は引継後、帰県。
救急セット96箱（576セット）、高槻日赤を經由し、岩手県（宮古市、山田町、陸前高田市）へ発送
- 3月22日（火） 救護所（野田小学校）で診療活動を実施
- 3月23日（水） 救護所（野田小学校）で診療活動を実施
- 3月24日（木） 12時 救護所（野田小学校）での診療活動終了し、撤収作業開始
18時 第3班 青森県に到着
- 3月25日（金） 10時30分 日赤青森県支部 出発
空路2名 帰県
- 3月26日（土） 陸路4名 帰県
- 3月29日（火） 安眠セット250セット、高槻赤十字病院を經由し、宮城県南三陸町ベイサイドアリーナへ発送

7. 県営住宅・市町村営住宅の被災者への提供（3月30日16時現在）
★報道発表済み（担当：奈良県住宅課）

	入居可能予定戸数	内) 入居決定戸数
県営住宅	100戸	<u>15戸</u>
市町村営住宅	63戸（21市町村）	2戸
計	163戸	<u>17戸</u>

8. 被災した生徒等の奈良県での就学機会の確保について
（担当：奈良県教育委員会事務局学校教育課）

- ①県立高等学校の入学者選抜における弾力的な取扱い
- ②転学における弾力的な取扱い
- ③相談窓口の設置

9. ホームステイボランティア募集について（担当：協働推進課）

- ①児童・生徒（小学生、中学生・高校生、特別支援学校生）のホームステイ受け入れ

※観測震度や奈良県内市町村における被害（人的被害およびその他の被害の情報なし）については、今後新しい情報がない限り記載を省略します。